

コーディネーター通信

令和6年1月23日（火）発行

支援部 NO.3

都立品川特別支援学校長

松井栄人

特別支援教育コーディネーター

石川華子

—副籍交流の感想紹介—

今年度、直接交流を行った保護者の皆様には、「交流の記録」として、交流内容や感想などを書いて御提出いただきました。御協力ありがとうございました。その中から、一部を御紹介させていただきます。次年度の副籍交流を検討する際の参考にさせていただければと思います。

○事前打ち合わせ

「親子共に緊張しましたが、学校の雰囲気分かり、受け入れ学級の先生とも話ができて、良かったです。」

○自己紹介／自己紹介カード



「初回は、朝の会で自己紹介をするのみにしました。緊張しながらも、自己紹介カードを渡したり、挨拶をしたりできました。」

○行事の参観／作品展への参加

「学校に慣れるために、行事の参観から始めました。出入口近くの席で、学年発表だけ見て帰ってきました。負担が少なく、良かったです。」

「事前打ち合わせに自己紹介カードを持参して、交流前に学級で紹介と掲示をお願いしました。初回の交流時に、学級の子が名前を覚えて出迎えてくれて、嬉しかったです。」



「学校帰りに、図工作品を届けました。作品展と一緒に展示してもらい、後日見に行きました。」

○授業での交流

「音楽の合奏や鑑賞に参加しました。音楽好きなので、楽しめました。」



「図工の製作は保護者が部分的に手伝いましたが、学級の子と一緒に活動できました。」

〈その他の御感想〉

「わが子のような障がいがある子がいることを、知ってもらい良いきっかけになりました。」

「道で会った時に、名前を呼んだり、挨拶をしたりしてくれる子が増えました。」

「地域の子どもたちとのつながりを、



感じる事ができました。」

○休み時間や朝読書

「休み時間にグラウンドで遊びました。手をつないで、一緒に走り回ってくれました。」



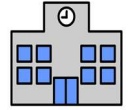
「朝読書に参加しました。好きな電車の本をきっかけに、話しかけてくれました。」



【全員提出】—「令和6年度 副籍交流希望書」について—

本日、「令和6年度 副籍交流希望書」を配布させていただきました。（中学部3年生以外）「直接交流」「間接交流」「交流活動なし」の3つの中から選択し、担任に御提出ください。2月末の個別面談で、内容を確認させていただきます。

—「学校生活支援シート」について—



個別面談にて、今年度の振り返りと支援機関の確認などをさせていただきます。

また、その時に『令和6年度 学校生活支援シート(保護者記入用紙)』を配布させていただきます。
(中学部3年生以外) 配布されましたら、こちらの記入もよろしくお願いいたします。

〔報告〕—特別支援教育 理解推進研修会について—

都立特別支援学校は、「センター的機能」という役割を担っています。センター的機能とは、特別支援学校がその専門性を生かし、地域の公立小学校、中学校、幼稚園、保育園などへの特別支援教育の推進、助言、サポートを行うということです。地域の学校というのは本校の場合は通学区域である品川区、目黒区、大田区ということになります。日常的には、本校のコーディネーターが地域の学校や就学前施設に出向き、訪問相談で助言等のサポートや各区や各校の研修会の講師役を担っています。

本研修会は、年に1回支援部が地域の学校の先生方向けに、特別支援教育の理解推進を目的として主催しています。今年度は令和5年12月26日(火)に、臨床心理士の河村智子先生を講師にお迎えして、『子供の特性理解とちょっと困った行動への対応～個に応じた指導に生かせる子供の見方～』というテーマで実施しました。河村先生は本校の外部専門員として、指導・支援してくださっている先生です。

年末差し迫る中での実施でしたが、本校の学区内である品川区、大田区、目黒区の幼稚園や保育所等、小・中学校の先生方に御案内したところ、100名もの先生方に御来校いただきました。特別支援教育への興味・関心の高さを感じました。参加された先生方は、講演を聞きながらメモを取り、集中して取り組んでいらっしゃいました。河村先生の講義の他、本校の教員が日々授業で使用している教材展示も実施し、参加者の関心を集めました。今回の学びをそれぞれの現場で活かしていただければと思います。詳しい研修内容につきましては本校のホームページに後日掲載予定です。よろしければ御覧ください。

